



所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計		投入コスト		活動実績(R1)	成果指標			総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	今後も広域連合及び国民健康保険の特定健康診査等実施事業と連携して、受診率の向上を目指していく。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	128,301千円	128,301千円	①受診者数 ②対象被保険者数 ③	受診率	埼玉県後期高齢者医療広域連合第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)(2018~2023年)の受診率を目標とする。								
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)												
	健康診査実施事業	埼玉県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例	142,983千円	136,175千円	H30正規職員 人件費	H30その他職員 従事割合	H30年度目標	H30実績							
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員 人件費	H30その他職員 従事割合												
	期間	埼玉県後期高齢者医療広域連合が実施すべき健康診査について市が業務を受託している。後期高齢者医療の被保険者に対し、市から健康診査受診券を送付し、受診希望者は市から委託を受けた医療機関において基本的な健康診査を受診する。被保険者の健康保持増進を図るとともに、医療費の適正化を図る。	1.25人	非常勤 特別職	実績	40.0%	35.7%								
	H20年度~	10,475千円	臨時職員	R元年度目標				R1実績							
		R1正規職員 人件費	R1その他職員 従事割合	①14,693人 ②42,722人 ③	R2年度目標	37.0%	34.4%								
	1.55人	非常勤 特別職	すでに医療機関に通院し医師の管理下にあるため、健康診査の必要性を感じていない被保険者が多いことが目標未達成の理由であると考える。												
	12,884千円	臨時職員													
国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	一定の受診率は保っているものの、目標には及ばなかった。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	53,625千円	45,684千円	①助成金合計額(人間ドックコース) ②助成金合計額(生活習慣病健診コース) ③受診者数	受診率	受診者数/被保険者数(35歳以上)									
根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)													
国民健康診断(人間ドック)補助事業	国民健康保険法、所沢市国民健康保険被保険者の総合健康診断に関する要綱	53,625千円	43,128千円	H30正規職員 人件費	H30その他職員 従事割合	H30年度目標	H30実績								
事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員 人件費	H30その他職員 従事割合													
期間	国民健康保険被保険者が市民医療センターで受診する総合健康診断(人間ドック)の検診料に対し、日帰りコースは16,500円、生活習慣病コースは15,000円を補助することで、受診を促し、疾病の早期発見、生活習慣病予防により健康保持・増進を図る。	0.23人	非常勤 特別職	実績	5.0%	4.7%									
S61年度~	1,927千円	臨時職員	R元年度目標				R1実績								
	R1正規職員 人件費	R1その他職員 従事割合	①37,818,000円 ②5,310,000円 ③2,646人	R2年度目標	5.0%	4.5%									
	0.90人	非常勤 特別職	詳細な健康診査となるため自己負担額が高額であること、助成対象となる医療機関が市民医療センターに限られること、新型コロナウイルスの影響により、毎年恒例の年度末の駆け込み受診がなかったことなどが原因と考えられる。												
	7,481千円	臨時職員													